



文学企画展

# 山下富美

## “生活の炎”を 見つめた歌人

徳島市生まれの歌人・山下富美（1925-2012）は1958年、化粧品店を営みながら警察官の夫との暮らしを詠んだ「人像標的」50首で第1回短歌研究新人賞の推薦第1位に選ばれ、脚光を浴びました。71年には水甕賞を受賞。「四国水甕」創刊にも携わり、「水甕」選者や徳島新聞の歌集評を長く担当するなど、歌壇に大きな足跡を残しました。「歌は生活の炎のようなもの」と言い、実生活と自我とのはざままで揺れる心情を情熱的に詠み続けた富美。そのひたむきな人生と作品を紹介します。



2024 11/3 (日・祝)  
2025 2/2 (日)

- 【開館時間】 9：30～17：00
- 【休館日】 月曜日（月曜が祝日・振替休日の場合はその翌日）  
年末年始（12月28日～1月4日）
- 【会場】 3階 文学常設展示室
- 【観覧料】 一般 310円（250円）  
高校・大学生 200円（160円）  
小・中学生 100円（80円）

※( )内は20人以上の団体割引料金。  
高齢者（65歳以上）と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。  
「とくしま文化推進期間」（11月3日～17日）は無料。  
小・中・高校生は、土・日・祝日・冬休み期間中は無料。

